

平成26年度一般会計の主な事業
税金の使い道をチェック!

みんなで祝った武豊町制60周年!



記念行事費 3789万円

町制60周年を記念し、「衣浦みなとまつり花火大会」「陸上自衛隊第10音楽隊コンサート」「TAKETOYOティーンズ・ミーティング」「第5回武豊ふれあい山車まつり」「NHK全国放送公開番組～吹奏楽のひびき～」を開催しました。

待ちにまった中山保育園新園舎!



保育園施設整備費 6億304万円

施設の老朽化に伴い、中山保育園の改築工事などを実施しました。

9月定例会

9月定例会は、9月2日から24日までの23日間の会期で開催しました。

平成27年度一般会計補正予算をはじめ、武豊町地域交流施設の設置および管理に関する条例の制定など7議案と、平成26年度一般会計決算および特別会計決算の認定など7件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では、13人の議員が町政の問題をただしました。

給食調理に民間のノウハウを活用

問 民間委託のメリットは、

答 加工食品の使用を少なくし、可能な限り原材料からの調理に対応している。

また、可能な限り、食材の当日の下処理・調理をして、衛生面や食材の鮮度維

震災に備えて!



衣浦小学校施設営繕工事 2780万円

児童の安全・安心の確保、教育環境の改善向上および施設の適切な維持保全のため、衣浦小学校の体育館の吊り天井の撤去など改修工事を実施しました。

通学路の安全確保!



町道笠松線道路改良工事費 583万円

見通しが悪く、通学路の危険箇所になっている富貴小学校南信号交差点から南に通じる道路のY字交差点の改良工事を実施しました。

資源の有効利用を!



資源ごみ運搬等委託料 7975万円

ごみの減量、資源の有効利用を図るため、資源ごみ回収を実施しました。平成26年度から新たに「おおしエコステーション」を開設しました。

安全・安心な給食を!



調理業務等委託料 9015万円

民間の専門性や柔軟性を取り入れて、安全・安心な給食の提供と給食センターの安定した運営を図るため、調理、配送・配膳の業務を平成26年度から民間委託しました。

答 利便性の向上が図られていると認識している。平成26年度の回収率は、全体の13%であった。来年4月に地域交流センター開設の相乗効果で回収率も上がると思うが、さらなるPRをしていく。

問 平成26年4月1日から「おおしエコステーション」が開設されたが、その効果は。

利用しやすい
エコステーション

持に努めている。衛生管理面においては、従前から行っている指導検査・研修に加え、委託会社内部の指導員が、定期的に現場で指導・検査を行っている。

2年連続交付団体となる 財政力指数0.99

■平成26年度決算の概要 (四捨五入により、差引額・合計が実際の決算額と異なる場合があります)

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)	差引額
一般会計		130億8882万円	127億4347万円	3億4534万円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	42億5380万円	40億2957万円	2億2423万円
	後期高齢者医療特別会計	3億8997万円	3億8807万円	190万円
	介護保険事業特別会計	22億9325万円	22億4173万円	5152万円
	農業集落排水事業特別会計	6630万円	6630万円	0
	下水道事業特別会計	12億4915万円	12億4915万円	0
合計		213億4129万円	207億1829万円	6億2300万円
水道事業会計	収益的収支 *1	8億4912万円	7億1690万円	1億3222万円
	資本的収支 *2	4743万円	2億845万円	▲1億6102万円 *3

- * 1 収益的収支…水道事業の経営活動によって発生する収益と費用
- * 2 資本的収支…施設の建設改良などの支出とその財源となる収入
- * 3 不足分は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金(積立金)などで補てん

■平成26年度普通交付税算定結果

基準財政収入額 (A)	58億4978万円
基準財政需要額 (B)	59億781万円
差(交付基準額) (C) = (B) - (A)	5803万円
財政力指数 (E) = (A) / (B)	0.99
普通交付税額	5803万円

* 地方公共団体の標準的な財政需要(基準財政需要額)が、地方税など標準的な財政収入(基準財政収入額)を超える場合に普通交付税が交付される。

■まちの貯金と借金

会計名	貯金(基金)	借金(公債)
一般会計	27億2274万円	67億2027万円
特別会計(その他)	11億8556万円	86億5183万円
合計	39億830万円 (39億7128万円)	153億7210万円 (158億2012万円)
町民一人あたりの金額 人口42975人(9月1日現在)	約9万円 (約9万円)	約36万円 (約37万円)

* () は平成25年度

平成26年度決算報告

一般会計

歳入が130億8882万円、歳出が127億4347万円、差引き3億4755万円、差引き3億4755万円の形式収支となりました。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源が、1億1509万円ありますので、実質収支は2億3026万円の黒字となり、財政調整基金(貯金)に積み立てました。

国民健康保険事業特別会計

歳入が42億5380万円、歳出が40億2957万円、差引き2億2423万円でした。

後期高齢者医療特別会計

歳入が3億8997万円、歳出が3億8807万円、差引き190万円でした。

介護保険事業特別会計

歳入は22億9325万円、歳出は22億4173万円、差引き5152万円でした。

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出ともに6630万円でした。不足分は、一般会計からの繰入金により

補っています。

下水道事業特別会計

歳入歳出ともに12億4915万円でした。不足分は、一般会計からの繰入金により補っています。

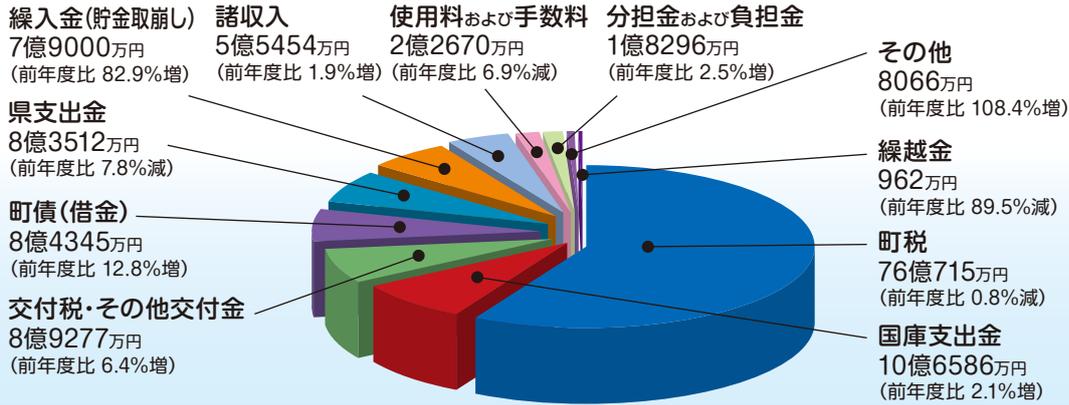
水道事業会計

収益的収入額が8億4912万円、支出額が7億1690万円、差引き1億3222万円でした。この額から消費税を差引くと、1億2317万円の当年度純利益となりました。一方、資本的収入額は、4743万円、支出額は2億845万円、差引き1億6102万円の不足となり、「過年度分損益勘定留保資金(積立金)」などで補っています。

平成26年度決算は、会計制度の変更により、形式的には、大幅な黒字となっています。しかし、昨年度までの会計基準に置き換えると、実質的には、水需要の低迷により2524万円の赤字という計算になります。

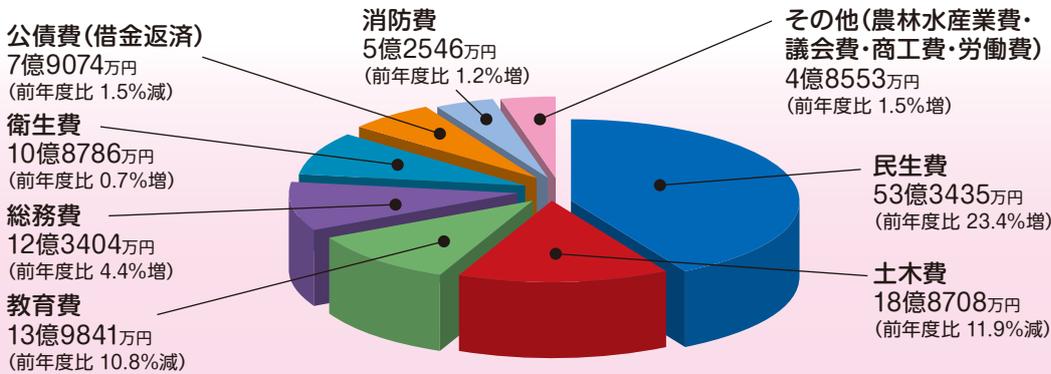
2億3026万円を財政調整基金(貯金)に

歳入<財源> 130億8882万円



- 町 税 → 町民税(個人・法人)、固定資産税など
- 国庫支出金 → 福祉、教育、医療、子育てなど国からの歳入
- 交付税・その他交付金 → 地方交付税、地方消費税交付金など
- 町 債 → 町の借金
- 県 支 出 金 → 福祉、教育、医療、子育てなど県からの歳入
- 線 入 金 → 町の貯金取崩し
- 諸 収 入 → 町税延滞金、検診料、講座参加料、賄材料費(学校給食)など
- 使用料および手数料 → 各施設使用料、諸証明手数料など
- 分担金および負担金 → 保育所運営費保護者負担金など

歳出<使いみち> 127億4347万円



- 民 生 費 → 高齢者、子どもの福祉など
- 土 木 費 → 道路、公園整備など
- 教 育 費 → 小中学校、町民会館など
- 総 務 費 → 役場庁舎整備など
- 衛 生 費 → ゴミ処理、病気予防など
- 公 債 費 → 借金返済
- 消 防 費 → 消防、防火水槽整備など

一般会計当初予算との差は

当初予算額と決算額の差額が、8億4153万円となるが、その要因は。

主な要因は、武豊港線や名鉄武豊駅東土地区画整理事業費の物件移転補償費の減額分である。

滞納額減少への取り組み

滞納額を減少させるための取り組みは。

滞納整理機構の活用や、昨年度導入したコンビニ収納による利便性の向上により、収納率を上昇させ、滞納額の減少を図っている。

水道事業広域化への動きは

赤字解消のため、広域化についての考えは。

愛知県内で4ブロックに分かれて、現在、検討作業を行っている。

新たに「市場会場」が開所

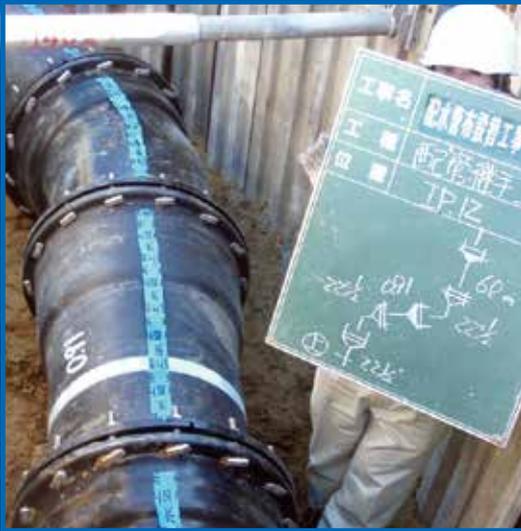


一次予防事業費 1193万円

高齢者に対する介護予防のため、憩いのサロン事業(11箇所)、体操サロン事業、予防啓発事業などを実施

水道事業会計

災害に強い配水管に



配水管布設替工事等事業費 1億5051万円

配水管耐震化等推進事業(国庫補助事業)、道路改良事業にともなう配水管布設替工事などを継続的に実施

「憩いのサロン」の今後は

問 町内11会場となった憩いのサロンの現在の状況と今後の計画は。

答 平成26年度は、延べ1万2172人が参加をしている。

平成32年度までに、14箇所の開所を目標とし、平成27年度中の増設に向け、二つの区と検討を始めている。

配水管耐震化へ

問 配水管の耐震化工事をごのような方向性で進めているか。また、進捗状況は。

答 重要供給施設としている役場、学校、医療機関などに直径200ミリ以上の基幹配水管を優先的に、耐震管への布設替えを実施している。

平成26年度末時点で、重要供給施設への基幹配水管総延長14・9kmの内、7・9kmの布設替えが完了した。率にすると53・2%である。

請願

意見書「国民的合意のないままの状態での安全保障体制の見直しを強行しないよう求める」の採択を求める請願

国民に十分な理解が得られておらず、合意も不十分であり、今後十分な国会審議が求められていることから、政府・関係機関に意見書の提出を求めます。

【請願者】

武豊九条の会

代表 永野 勝

【紹介議員】

梶田 進

【所管】

総務企画委員会

【審査の経過と結果】

委員会審査において、鈴木一也委員より請願趣旨の「国民に十分な理解が得られておらず、合意も不十分であることから、今後も十分な国会審議が求められる」という内容については賛同できるが、意見書の内容については、納得できないところがあるとのことから、

趣旨採択を求める意見が出され、採決の結果、賛成2人、反対3人となり不採択となりました。

委員会採決の結果、賛成0人で不採択となりました。本議会において、梶田進議員による賛成討論がありました。採決の結果、賛成2人、反対13人となり不採択となりました。

老人福祉センター廃止の延期を求める請願

現在、建設計画がすすめられている屋内温水プール内に、老人福祉センターの代替施設の設置が検討されています。老人福祉センターの廃止を代替施設完成まで延期を求めます。

【請願者】

野田 佳延

始め521人

【紹介議員】

梶田 進

【所管】

文教厚生委員会

【審査の経過と結果】

委員会審査において、

平成27年度一般会計補正予算



石油ファンヒーター購入費 327万円 燃料費 83万円

石油ファンヒーターを町内4小学校の普通教室に配備します。(写真はガスファンヒーターでイメージです)

衣浦小学校施設営繕工事費 609万円

衣浦小学校図書室の空調機3台の更新工事を行います。

公園緑地整備費 1817万円

「まちの駅」の飲食コーナーに配備する陳列棚・陳列用冷蔵庫・レジカウンター・レジ・テーブルや椅子などを購入します。

地域交通事業費 487万円

バス停留所33箇所に案内板を設置します。また、コミュニティバスにラッピングし、車載用モニターを取付け音声案内などを行います。

学校生活を快適に

問 ファンヒーターへの灯油の給油方法は、どのように行うのか。また、灯油は安全な場所に保管できるのか。

答 給油は基本的に担任が行う。おおむね4、5日に1回程度の給油と考えている。

保管場所については、階段下の倉庫や職員だけが出入りする通路など、安全な場所の確保をお願いする。

ご寄付ありがとうございました

日油(株)愛知事業所ゴルフ部様から4万3000円のご寄付をいただきましたので、総合体育館の卓球台(2台)の購入費に充てさせていただきます。

「修繕費以上に、利用者の希望は、お金にかえられないものがある」、「これだけの方たちの思いを受け止めていく必要がある」の賛成意見がありました。

委員会採決の結果、賛成2人、反対3人で不採択となりました。

本議会において、梶田進議員による賛成討論がありました。採決の結果、賛成2人、反対13人となり不採択となりました。

意見書

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持および拡充を求める意見書

平成28年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元に向けて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

全会一致可決

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を一層拡充するとともに、併せて、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充をはかられるよう強く要望する。

全会一致可決

愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

保護者負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充するとともに、経常費助成についても国から財源措置のある「国基準単価」を土台に、学費と教育条件の「公私格差」を着実に是正できる施策を実施することを要望する。

全会一致可決

賛成討論

武豊クラブ 福本 貴久

厳しい経済状況の中、歳入全体の60%を占める町税の徴収率向上に努め、財源確保が図られた。

今後とも税負担の公平を期すため、課税対象の確な把握と収入未済などの削減に一層の努力を期待する。

地域交流施設を含む周辺整備、名鉄知多武豊駅東区画整理、知多南部広域環境センター整備事業などの供用開始に向けて、着実な事業推進をお願いする。

屋内温水プール建設計画については、財政負担の大きい中、着工時期に関して十分検討され、事業を進めていただきたい。

反対討論

梶田 進

法人税の減収を防ぐため、大企業への超過課税の実施を求める。

リニア建設事業促進を促す負担金は中止すべきである。

滞納整理機構から離脱して、住民の納税意識の高揚をもって収納率の向上を図ることが大切である。

る。

非常勤職員の待遇を、同一労働同一賃金の原則から、新人保育士と同等の保障をすべきである。

今後、ごみ処理が広域化されていく中で、生ごみの減量化に重点を置き取り組むことを求める。

生徒が安心して教育を受けることができるような環境整備に努め、適正な人員配置を要望する。

主な採決結果

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

平成27年第3回定例会		1 富永 良一	2 甲斐百合子	3 久野 勇	4 櫻井 雅美	5 青木 信哉	6 青木 宏和	7 本村 強	8 梶田 進	9 南 賢治	10 石川 義治	11 森田 義弘	12 大岩 保	13 鈴木 一也	14 石原 壽朗	15 福本 貴久	16 岩瀬 計介	採決結果
平成27年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
平成26年度決算認定	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
	農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
意見書「国民的合意のないままの状態 で安全保障体制の見直しを強行しない よう求める」の採択を求める請願		×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	不採択
老人福祉センター廃止の延期を求める請願		×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	不採択
定数改善計画の早期策定・実施と義務 教育費国庫負担制度の堅持および拡充 を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
国の私学助成の増額と拡充に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決